

(公財) いわて産業振興センター広報誌

産業情報 いわて

Industry Information IWATE

VOL.

156

2015年7・8月合併号

【支援企業紹介】 ②



株式会社 **北館製麺**

一貫生産体制で、
美味しい国産そばを全国へ

北館製麺の
これがポイント!

そば粉はもちろん、小麦粉や山芋粉も製品別に国産へ特化。フレッシュ・ローテーションで製造された北館製麺の製品は、風味と香りをキープ。一般的な乾麺の常識を変える逸品である。

平成27年度いわて商談会開催について ④

平成27年度「青森・秋田・岩手 3県合同商談会」開催 ④

いわて特産品コンクール ⑤

第8回いわて特産品フェアを開催 ⑤

第4回いわての工芸品見本市を開催 ⑤

第19回「機械要素技術展」出展報告 ⑥

平成27年度顧客満足度調査結果 ⑥

「いわて環境と人にやさしい
次世代モビリティ開発拠点」プロジェクト
人材育成メニューのご紹介! ⑦

新評議員紹介 ⑦

新コーディネーター・相談員紹介 ⑦

設備貸与制度のご案内 ⑧



事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

8月 [AUGUST]

18日 いわて食の大商談会2015(盛岡市)
26日~28日 ものづくりアカデミー・
品質管理中級セミナー(北上市)

9月 [SEPTEMBER]

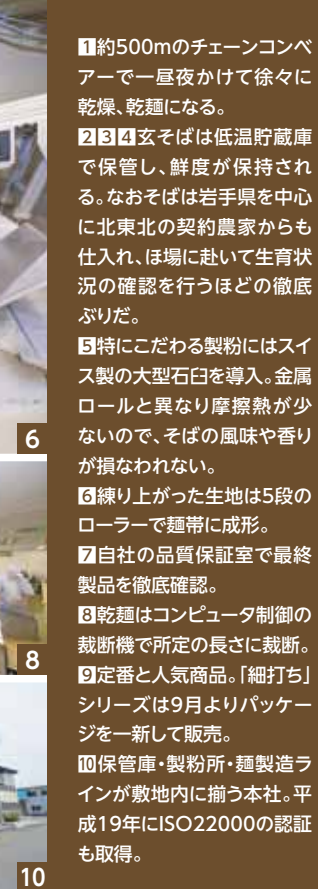
9日・10日 中堅管理者・
後継者養成講座(1)(八幡平市)
10日・11日 いわて特産品コンクール(盛岡市)
25日~27日 大連展示商談会(中国・大連市)

10月 [OCTOBER]

1日 いわてアパレル企業
ビジネスマッチングフォーラム(東京都)
15日・16日 中堅管理者・後継者養成講座(2)(雫石町)
29日・30日 原価管理とコストダウンセミナー(盛岡市)

一貫生産体制で、 美味しい国産そばを全国へ

専務取締役
北館 大輔



【支援企業紹介】八幡平市 株式会社北館製麺

県内有数のそばの生産地・八幡平市に本社工場を置く株式会社北館製麺。国産原料と鮮度にこだわりつつ、様々な営業戦略で国産そばを全国に送り出している。企業活動の原動力を北館大輔専務取締役に伺った。

【いわて産業振興センター活用事例】
麺の自動計量機の導入等に設備貸与と制度を利用するほか「いわて食の大商談会」へも出展。今後予定される業務拡大や設備更新にともない、新たな設備貸与利用も想定している

そばの栽培から製粉・加工まで 業界では珍しい一貫生産を実現

県北地域の食文化を代表する産物「そば」。一帯では昔からそば栽培が盛んに行われ、地区内で製粉、そばに加工する生産サイクルも存在していた。この一連の工程をすべて自社で行っているのが、八幡平市に本社工場を置く株式会社北館製麺だ。良質なそばが穫れる安比高原に直営農場を展開し、収穫した玄そばは低温倉庫で管理、必要に応じて製粉し、製品を全国に送り出している。

「当社の体制は、出来立てを届ける『フレッシュ・ローテーション』。玄そ

ばは使う分だけ製粉し、製粉から96時間以内にお客様に届けます」。専務取締役の北館大輔さんはこともなげに話す。業界ではほ場を保有するところは少なく、製粉も外注が一般的。それを乾麺日産2万食という規模の工場で守り抜くのは驚くべきことだ。

昭和23年、町場の小さな製粉工場としてスタートした同社。地域特産のそばの活用を念頭に、昭和46年には乾麺事業に本格参入する。昭和50年の法人化後は国産原料へのこだわりを加速させ、昭和63年には農業生産法人・有限会社あしろ農場を設立した。また原材料の吟味とともに自社の品質管理部門を構築し、厳し

い品質チェックを自ら課している。「挽きたての美味しさをできるだけ早く届けたい」。

そば産地であることの自負と責任が、業界の常識をくつがえす一貫生産体制を実現したと言える。

商品ラインナップと販売戦略で 岩手のそばを全国にピーアール

国産原料や鮮度へのこだわりは同業他社との差別化にも繋がり、関東や東北の生協との取引は20年以上前から。「そば畑を持つそばメーカー」は、食の安全に敏感な消費者に受け入れられている。

商品ラインナップの多さも魅力だ。

創業時からの「八幡平やまいもそば」はじめそば湯が楽しめる「打ち粉たっぷりそば」、夏の「そばそうめん涼」や「もりおか冷麺」など、定番・看板・季節ごとの商品のほか、これらを組み合わせた贈答品も実に多彩。ギフトシーズンには百貨店に自社コーナーを設置し、オリジナルギフトも作成する。新そばの季節は県内各スーパーにのぼりを掲げて試食販売を実施している。すべて「美味しいそばをいち早く届けたい」との思いからである。

県内2店の直営店「北の蕎麦屋」に加え、昨年6月には東京目黒に「いわての蕎麦 やまきた」を開店。各店では店頭製粉を行い、新鮮なそばと

岩手産食材の料理を提供している。通販には以前から力を注いでいたが、今年4月からは楽天にも出店、「これまで培ってきた通販のノウハウと店舗で得た生の声を、楽天サイトへ水平展開していく」と北館専務は話す。

「乾麺は非常食ではない」。きっぱりと話す北館専務。同社の戦略とは、そんな世間一般の常識をも変えるための戦略でもあるようだ。美味しいものを美味しいまま全国へ。その試みは他の県産食材や特産品も巻き込んで、岩手のイメージアップに繋がっている。

そばを核に「岩手のよさ」を発信していきたい

店舗では岩手の海の幸や山の幸、酒造会社などとタイアップして料理を提供しています。また直営農場ではそばのほか、ネギなど野菜栽培も始めています。こういう食材も、いずれは通販サイトで提供できれば。岩手のよさを伝えたいですね。

技アリ!ポイント

企業データ

会社名 株式会社北館製麺
本社 八幡平市呷田176-1
電話 0195-72-7248
代表者 北館 充史

創業 昭和23年(1948)5月
従業員 32名
業種 各種乾麺、半生麺製造販売
URL <http://shop.kitadate.co.jp>

平成27年度 いわて商談会開催について

センターでは、取引拡大をめざす県内外の受・発注企業の皆様が、一堂に会して商談及び相互交流を行う場を毎年提供しており、標記商談会について今年度も開催する運びとなりましたので、ご案内させていただきます（センター登録企業様へは詳細につきまして、別途郵送でご案内させていただきます）。

県内外からの多数のご参加をお待ちしております。

開催日時

平成27年11月12日(木)
●商談会(13:00~17:45) ●懇親会(18:15~19:45)

会場

ホテルシティプラザ北上(北上市川岸1-14-1)

参加対象

岩手県内外の受発注登録企業及び県外発注企業
(製造、鉄骨・製缶、機械加工、板金、プレス、樹脂、表面処理電子機器、金属材料商社等)

定員

発注企業 50社 / 受注企業 150社

参加料金(予定)

商談会	●いわて産業振興センター賛助会員 …… 1名につき3,000円 ●いわて産業振興センター非賛助会員 …… 1名につき6,000円 ●岩手県外企業 …… 1名につき8,000円 ●発注企業 …… 無料招待
懇親会	●受注企業 …… 1名につき5,000円 ●発注企業 …… 無料招待

申込方法

センターホームページより申込様式をダウンロードのうえ、電子メールにてお申込みいただきます。

お問い合わせ先 (公財)いわて産業振興センター ものづくり振興グループ 取引支援チーム 鎌田
TEL:019-631-3822 / FAX:019-631-3830 / E-mail:sitauke@joho-iwate.or.jp

平成27年度「青森・秋田・岩手 3県合同商談会」開催しました

7月2日(木)、北東北3県の(公財)21あおもり産業総合支援センター及び(公財)あきた企業活性化センターとの共催で標記商談会を、TRC東京流通センター第一展示場(東京都大田区)において開催いたしました。

この商談会は、関東地区を中心とした発注企業(メーカー、商社)の皆様と、青森・秋田・岩手県内の特色を持った受注企業の方々が一堂に会して、個別商談や情報交換等を目的に毎年開催しており、本年度で12回目となります。

当日は、発注企業が60社、青森・秋田・岩手の各財団に登録している受注企業が144社(うち岩手県は67社)参加しました。

個別面談では1回20分の指名面談を前半と後半に分けて合計8回、1回15分のフリー面談(事前予約なし)を間にはさんで行い、全体では1社につき最大で11回の面談を行いました。会場では、自社の技術や製品を積極的に売り込む熱心な姿が見られ、発注企業と受注企業の間

で活発な商談が行われました。

今回の商談会に参加していただいた発注企業・受注企業の皆さまに感謝申し上げますとともに、センターでは今後の継続的な取引に発展するよう継続的に支援して参ります。



いわて特産品コンクール

「希望郷いわて国体土産品部門」新設!!

出品者
募集中
[申込締切]
8/25(火)

いわて特産品コンクール
岩手県知事賞

平成26年度岩手県知事賞 食品部門
いわて南部地粉そば
株式会社川喜

いわて特産品コンクール
岩手県知事賞

平成26年度岩手県知事賞 工芸品・生活用品部門
螺鈿のジュエリーケース
螺鈿 澤井工房

入賞者
特典

新聞媒体による受賞PR広告

出品者
特典

PRパンフレット掲載・配布
岩手県アンテナショップ(東京銀座・福岡)、
物産展、商談会など

●開催日時等

コンクール部門名称	審査会日時	表彰式日時
希望郷いわて国体土産品部門	9月10日(木)	9月11日(金)
食品部門	9月10日(木)	
工芸品・生活用品部門	9月11日(金)	

●申込み方法

申込みは、所定の申込書により、郵便又はFAXにより申し込んでください。
参加申込書は(公財)いわて産業振興センターホームページからダウンロードできます。
<http://www.joho-iwate.or.jp/bussan/>

●申込期間

平成27年7月15日(水)~8月25日(火)

主催/いわての物産展等実行委員会・岩手県

申し込み先 いわての物産展等実行委員会事務局(公益財団法人いわて産業振興センター)
〒020-0857 盛岡市北飯岡2-4-26 TEL:019-631-3824 FAX:019-631-3830

第8回いわて特産品フェアを開催しました

平成27年6月4日(木)~9日(火)まで、盛岡市パルクアベニューカワトク 7F催事場&ダイヤモンドホール&1階特設会場において、「第8回いわて特産品フェア」を開催しました。

会期中には、「白澤みさきミニコンサート」や、一関市道の駅蔵美溪「蔵餅隊」による餅つき&餅振る舞いが行われたほか、3月に西和賀町杉名畑地区で発生した土砂崩れに伴う一般国道107号通行止めの為に休業中の「道の駅錦秋湖」応援特別販売が行われました。

出店事業者は、食品50社、工芸品25社、合計75社が参加し、そのうち15社が初出店でした。売上は16,740千円(速報)となりました。



第4回いわての工芸品見本市を開催しました

平成27年6月10日(水)~12日(金)の3日間、「インテリアライフスタイル」に参加して、東京ビッグサイト西2ホールで「第4回いわての工芸品見本市」を開催しました。

「インテリアライフスタイル」とは、東京から世界へ向けて「ライフスタイルを提案する」インテリア・デザイン市場のための国際見本市で、本年度で25回を数えます。

今年は、南部鉄器、木製品、漆器、螺鈿細工、裂き織が参加し、バラエティー豊かな岩手の工芸品をPRしました。各企業・組合共、活発な商談が行われ、充実のうちに会期を終了しました。新しいデザインや製品が集まる、活発で有意義な商談の場となりました。

[出展企業] 9社・団体

(株)岩鑄、水沢鑄物工業協同組合、
(株)及精鑄造所、(有)及春鑄造所、
螺鈿澤井工房、(株)幸呼来Japan、
(有)夢工房、おりつめ木工、(株)浄法
寺漆産業

[入場者数]

3日間合計28,119名
(速報)



第19回「機械要素技術展」出展報告

6月24日(水)から6月26日(金)までの3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)において第19回「機械要素技術展」(主催:リード エグジビション ジャパン(株))が開催され、本県の17社が、共同出展ブースに出展しました。

本展示会は機械要素と機械材料・加工技術などの主要企業が一堂に会し、世界各国からサプライヤーが集結する工業界の一大イベントです。

岩手県共同出展ブースは、メーカー等の設計技術者、研究開発者、生産技術者、購買・資材担当者等のお客様に、出展企業の有する優れた技術を見ていただくことにより、ビジネスを獲得し、成長と発展を目指すものです。

当センターは、本展示会に2006年から出展しており、今年で10回目となりました。

県内出展業者が自社製品・技術等の工夫を凝らした展示ブースでは、名刺交換、見積依頼、具体的商談が活発に行われ、「見積りの依頼がある」、「打合せのため後日訪問の約束を取り交わす」等の成果があり、手応えを感じていました。

今後も当センターでは、本県中小企業の取引マッチングに努力してまいります。

敬称略、五十音順	(株)アイオー精密 岩手製鉄(株)	オーレックス(株) (株)共立精工	品川光学(株) (有)青匠回路設計	盛岡セイコー工業(株) 和田工業(株)
	(株)エイワ 大野ゴム工業(株)	(株)小林精機 (有)サワ	(株)千田精密工業 (株)ナテック	
	大森クローム工業(株)	(有)ジーエフトップ	(有)プロフィット	

開催期間の来場者:81,469名(3日間) ※H26:80,608名(3日間) URL:<http://www.mtech-tokyo.jp/>

平成27年度顧客満足度調査結果

調査目的

センターが提供したサービスへの満足度及びその理由等の調査を行い、その結果をサービス内容・方法の検討に資することにより、センターのサービス内容の充実及び質の向上を図ることを目的とする。

調査概要

- (1)実施時期 平成27年5月12日(火)～5月29日(金)
(2)対象者 平成26年度内に当センターの提供するサービスをご利用頂いた企業・個人等
(3)項目 サービス利用の満足度(5段階)及びその理由(複数回答可)、センターに対する要望・意見
(4)その他 次の事業については、既にアンケートを実施済み(※下記についての満足理由は調査していない)
①ものづくりアカデミー／②北いわて産業支援事業(商談会、交流会及び展示会支援)／③異業種交流ネットワーク形成事業
④いわて希望ファンド(中小企業等試験販売事業)／⑤物産販路開拓事業／⑥商談会(発注・受注)／⑦工程改善指導
⑧半導体関連産業取引あっせん事業／⑨医療機器関連産業参入促進事業(交流会及び展示会支援)／⑩ソフトウェア開発業務取引支援事業(交流会)
⑪展示会出展支援(機械要素技術展出展支援事業)／⑫次世代モビリティ開発拠点形成事業／⑬新素材・加工産業集積促進事業

調査結果

総合満足度 **4.23** (昨年度 4.06) ※中期経営計画における目標値4.00

回答率 **67.9%** [1,223/1,801] (昨年度76.0%)

※満足理由及び不満理由の各割合は別紙参照

※満足度算出方法 満足(ウエイト:5)から不満(ウエイト:1)までの回答の加重平均により算出

事業名	満足度	対象数	回答率	回答割合
総合支援事業	4.28	362/1,801(20.1%)	304/362(84.0%)	304/1,223(24.9%)
新事業・新分野進出支援事業	4.28	253/1,801(14.0%)	168/253(66.4%)	168/1,223(13.7%)
設備貸与等事業	4.79	133/1,801(7.4%)	107/133(80.5%)	107/1,223(8.7%)
取引市場開拓支援事業	4.09	858/1,801(47.6%)	562/858(65.5%)	562/1,223(46.0%)
研究開発支援事業	4.13	195/1,801(10.8%)	82/195(42.1%)	82/1,223(6.7%)

満足度内訳

事業名	満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	計
総合支援事業	4.28	132	131	36	4	1	304
新事業・新分野進出支援事業	4.28	84	55	23	4	2	168
設備貸与等事業	4.79	93	7	5	2	0	107
取引市場開拓支援事業	4.09	195	235	119	12	1	562
研究開発支援事業	4.13	25	44	12	1	0	82
全 体	4.23	529	472	195	23	4	1,223

「いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点」プロジェクト — 関工業高等専門学校 人材育成メニューのご紹介! —

設計・材料分析部門 人材育成プログラム

業務階層別に分け、MOT教育、各種の技術講座と管理技術講座、3D-CAD・CAE講座や表面処理講座を通し、「技術者が自発的に提案し、自ら行動できる」技術者育成に取り組んでいます。

●開催中及び参加者募集中の講座

「機械要素とシーケンス制御」講座 開催中

機械要素と制御技術を学びます。製品や生産設備設計に必要な知識をメーカー技術者より解説して頂きます。

●会場：関工業高等専門学校 メディアセンター 視聴覚室他 ●参加費：無料

開催日時 及びテーマ	[第1回]	[第2回]	[第3回]	[第4回]
	終了	終了	PLC基礎 9月3日(木)・4日(金) ※いずれか1日を選択 オムロン製PLCの種類や使用方法など実機を使用して学びます。	エア・機器 9月12日(土) SMC製エア制御機器、シリンダーなどの使用法について。

品質工学 講座参加者募集中

品質工学では「品質が欲しければ、品質を測るな、機能性を評価せよ!」と言うことが合言葉になっています。SN比を特性値と考えるとパラメータ設計や機能性評価を学びます。

●講師：小野 元久氏(宮城教育大学 名誉教授) ●会場：関工業高等専門学校 メディアセンター 視聴覚室 ●募集定員：30名(先着順)

●参加費：無料 ●募集期間：平成27年9月14日(月)まで

開催日時	第1日	第2日	第3日・第4日	第5日
	9月25日(金) 品質工学の導入、測定データとばらつき、 損失関数、SN比	9月26日(土) 機能性評価、 機能性評価の実習	10月2日(金) パラメータ設計、 パラメータ設計の実習	10月9日(金) MTシステム 診断や予測のための 手法です。(例:イプシロンロケット)

EV部門 人材育成プログラム

教材用EV車を使用して、EV関連の知識とEV各部の機能や性能等について専門家の指導を受けられる無料講座となっております。

EVアカデミー

講師陣は、地元岩手県におられる自動車メーカーご出身のエキスパートが担当し、最先端の自動車技術教育をわかりやすくご指導いたします。

●時 間：10:00～17:00 ●会場：関工業高等専門学校
●募集定員：各20名 ●受講料：無料

講座番号	実施日	講座名	申込締切
EV01	9月 6日(日)	次世代モビリティの概要	8月7日(金) 15:00
EV02	9月12日(土)	モーター基礎	
	9月13日(日)	モビリティのモーター設計	
	9月19日(土)	蓄電技術の基礎と応用①	
EV03	9月20日(日)	蓄電技術の基礎と応用②	9月4日(金) 15:00
EV04	9月26日(土)	モビリティのハーネス設計	
EV05	9月27日(日)	モビリティの設計概論	
EV06	10月 3日(土)	モビリティの走行性能設計	
EV07	10月 4日(日)	モビリティのデザイン	
EV08	10月10日(土)	Kit Car 分解組立実習	
	10月11日(日)	Kit Car 分解組立実習	
EV09	10月12日(月)	モーターコントロール実習	

※各講座の詳細はホームページをご覧ください。▶ URL: <http://www.ichinoseki.ac.jp/techc/index.html>

お問い合わせ・
お申し込み先

主催：関工業高等専門学校 [TEL]0191-24-5902 [FAX]0191-24-4798 [E-mail] jshien@ichinoseki.ac.jp
関工業高等専門学校 地域イノベーション事業 [設計・材料分析人材育成]担当：飯坂、佐藤 [EVアカデミー]担当：菊地、佐藤(久)

新評議員 紹介

当いわて産業振興センターの
新評議員の皆さまを
ご紹介いたします。



新評議員
岩渕 明
(国立大学法人岩手大学学長)



新評議員
鈴木 厚人
(公立大学法人岩手県立大学学長)



新評議員
小田島 智弥
(岩手県工業技術センター理事長)



新評議員
岩清水 晃
(岩手県南部鉄道協同組合連合会会長)

新コーディネーター・相談員紹介

センターに今年度から新たに勤務する
職員をご紹介します。



ILC・産学連携コーディネーター
今 健一

5月よりILC・産学連携
コーディネーターを拝命
いたしました。約30年間、
メーカーにて加速器用電
磁石の設計及び国内主要
研究所と製造部門とのパ
イプ役を務めてきました。
これらの経験を微力なが
ら地元企業さんのお役に
立てればと思います。



販路開拓プロモーター
小原 和哉

当センターでは、ひと昔
前に、ベンチャーの支援
を担当させていただけま
した。今度は、被災事業
所の販路開拓支援に当
たらせていただきます。
ベンチャー並みのエネル
ギが必要な予感です。
よろしく願っています。



窓口相談員
秋田 誠

北東北3県を中心に、
200社超の経営支援に
携わって参りました。「売
上を増やしたい」「資金繰
りを改善したい」等、経営
者の抱える悩みは様々。
課題解決の糸口を見出
すお手伝いをいたしま
す。お気軽にご相談くだ
さい!

平成27年度 設備貸与制度のご案内

長期

5年～10年

低利

年1.3%～1.7%

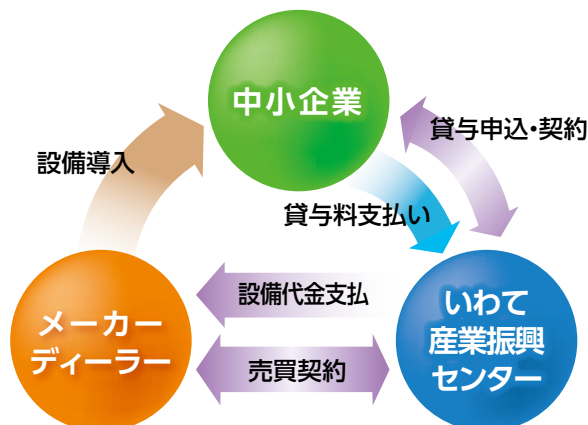
(固定金利) 東日本大震災で直接被災した企業は更に-0.1%

無担保

金融機関融資と別枠です

制度のしくみ

この「設備貸与制度」は、岩手県内の中小企業の皆様が必要とする機械、設備をセンターが購入し、長期・低利で貸与する公的制度です。



区 分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)
貸付期間	5年～10年 (導入設備耐用年数上限) (右記条件3を満たせば10年以内で2年延長可能)	5年～10年 (導入設備耐用年数上限) (右記条件3を満たせば10年以内で2年延長可能)
貸付限度額 (消費税含む)	100万円～1億円 (右記条件1を満たせば2億円)	100万円～1億円 (右記条件1を満たせば2億円)
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(中古・車両を除く)
保証金	貸与額の10% (右記条件1を満たせば5%) (最終償還時に返済)	——
利 息 (貸与損料)	年率1.30%～1.70% (固定金利) (お申込企業様の財務内容により決定) (右記条件2を満たせば-0.1%)	——
リース料 (月 額)	——	5年=1.867%(参考) 7年=1.389%(参考)
連帯保証人	法人:代表者1人 個人不要(経営者保証ガイドラインに準拠)	

※運賃・取付工事は貸付の対象となりますが、建物部分・基礎工事は対象外です。
一部、対象とならない業種、設備がございますので詳しくはセンターにお問合せ下さい。

条件1

- ① 中小企業新事業活動促進法に基づく計画認定企業(経営革新・異業種連携)
- ② 中小企業地域資源活用促進法に基づく事業計画認定企業
- ③ 農商工等連携促進法に基づく事業計画認定企業
- ④ いわて希望ファンド、いわて農商工連携ファンド採択企業
- ⑤ 自動車関連産業企業
- ⑥ 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- ⑦ 県内企業5社以上に下請発注している企業
- ⑧ 県内企業への下請発注額が1,000万円以上の企業
- ⑨ 今回の設備を設置することで⑥～⑧のいずれかに該当する企業

※上記のいずれかの条件を満たせば、2億円まで貸付及び保証金5%対応可能

条件2

東日本大震災で設備又は事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

※上記の条件を満たせば、適用利率から0.1%の引下げ及び据置期間2年の対応可能

条件3

商工会及び商工会議所を経由して申込をした企業

※上記の条件を満たせば、10年以内において、返済の基準となる耐用年数の期間について2年を超えない範囲内で延長すること可能

お 問 い 合 せ

総務・金融グループ

☎019-631-3821 FAX019-631-3830

<http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi>

(公財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報いわて

2015年7月25日

■発行／公益財団法人 いわて産業振興センター

〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター2F)

TEL.019(631)3823

E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL <http://www.joho-iwate.or.jp/>

■編集印刷／川嶋印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。